

美浜町地域づくり拠点化施設整備事業

事業者選定基準

平成 31 年（2019 年）2 月

[平成 31 年（2019 年）4 月 26 日修正版]

美 浜 町

目 次

1. 本書の位置づけ	1
2. 事業者選定の概要	1
(1) 事業者選定方式	1
(2) 事業者の選定方法と選定の体制	1
3. 審査の手順	3
4. 資格審査	4
5. 提案審査	4
(1) 基礎項目の審査	4
(2) 加点項目の審査（審査事項に係る評価点の算定）	4
(3) 提案価格に係る評価点の算定	5
(4) 総合評価点の算定及び最優秀提案の選定	5
6. 優先交渉権者の決定	5

添付資料

別紙1 基礎項目の審査に係る評価基準

別紙2 加点項目の審査に係る評価基準

1. 本書の位置づけ

美浜町地域づくり拠点化施設整備事業事業者選定基準（以下「事業者選定基準」という。）は、PFI方式により美浜町地域づくり拠点化施設整備事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を選定するための方法及び評価基準等を示したものであり、応募者に配付する募集要項と一体のものである。

2. 事業者選定の概要

(1) 事業者選定方式

本事業を実施する事業者には、施設を整備し、その後の維持管理・運営の各業務を通じて、効率的かつ効果的に、併せて安定的かつ継続的なサービスの提供を求めるものであり、事業者の幅広い能力及び経営ノウハウ等を総合的に評価して選定することが必要である。そこで、事業者の選定に当たっては、公募型プロポーザル方式を採用し、美浜町（以下「本町」という。）の要求するサービス水準との適合性並びに維持管理・運営業務における遂行能力や事業計画の妥当性、更に資金調達計画の確実性やリスク負担能力等を総合的に評価し、優先交渉権者を決定するものとする。

(2) 事業者の選定方法と選定の体制

事業者の選定は、資格審査及び提案審査により行う。

資格審査においては、本町が、応募者の参加資格について審査を行う。また、提案審査においては、まず、本町が、提案内容等が要求水準を満たしているか否か等、基礎項目の充足の有無の審査（基礎項目の審査）を行った上で、「審査事項に係る評価」及び「提案価格に係る評価」を行う。

「審査事項に係る評価」として、本事業の各業務に関する具体的な提案内容について、本町が設置した学識経験者等で構成する美浜町地域づくり拠点化施設整備事業事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が審査を行った上で、「提案価格に係る評価」と合わせた総合評価により最優秀提案を選定し、本町に選定結果を報告する。

本町は、選定委員会からの報告を受けて、優先交渉権者を決定する。

選定委員会の委員は、以下のとおりである。

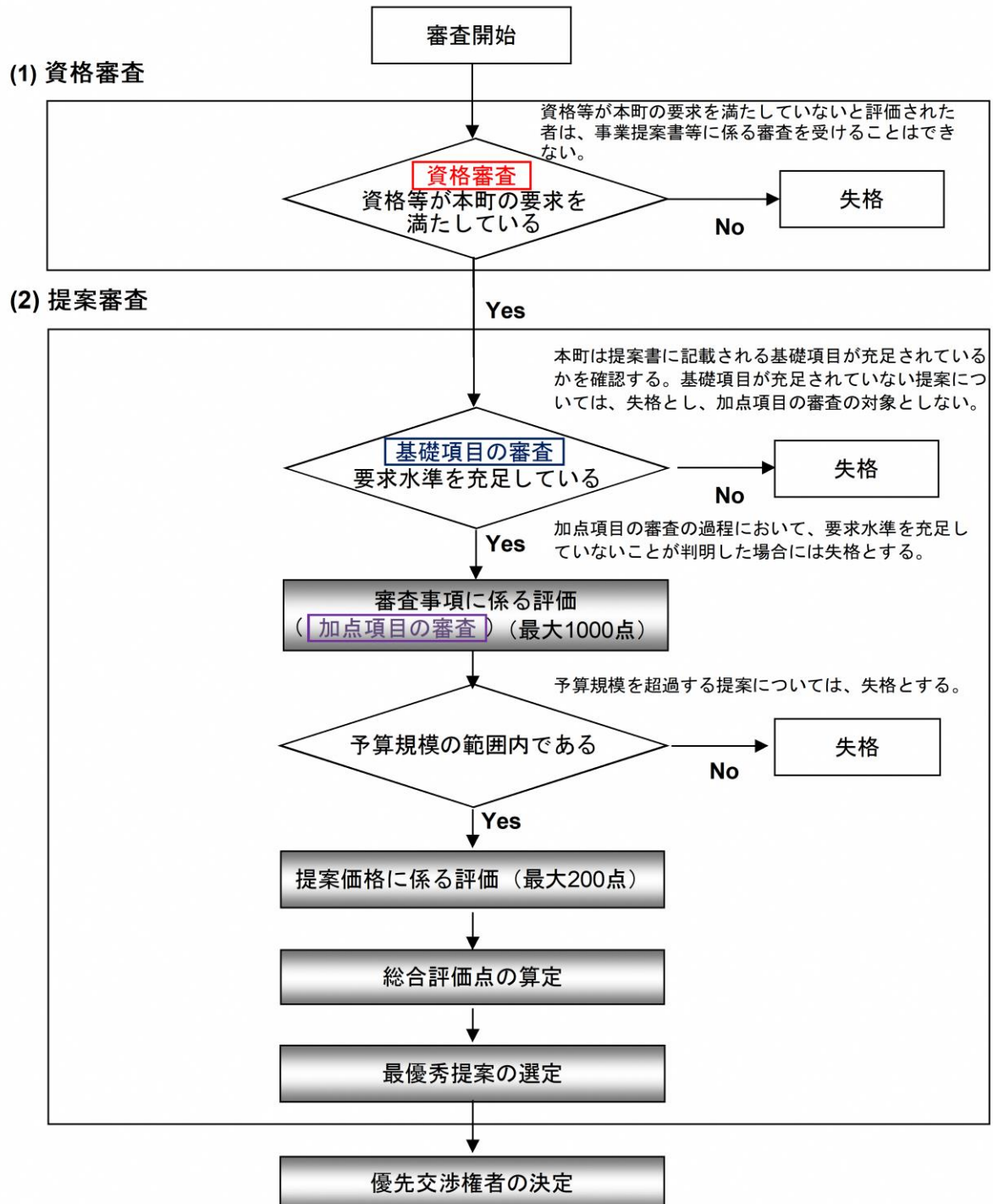
【選定委員会 委員】

	氏名	所属
委 員	川本 義海	国立大学法人福井大学 教授
委 員	浅妻 文誠	浅妻一級建築士事務所 代表
委 員	嶋田 博文	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所 所長
委 員	西村 正樹	美浜町副町長
委 員	竹本 治和	美浜町総務課長
委 員	山口 敏嗣	美浜町土木建築課長

計6名

3. 審査の手順

審査の手順は、次のとおりとする。



4. 資格審査

本町は、応募者の資格、資力及び信用等、資格要件に係る適否について審査し、要件の未達項目があれば失格とする。

5. 提案審査

(1) 基礎項目の審査

提案内容等が「別紙1 基礎項目の審査に係る評価基準」に掲げる基礎項目を充足しているかについて本町が審査を行う。基礎項目を充足している場合は適格とし、充足していない場合は失格とする。

(2) 加点項目の審査（審査事項に係る評価点の算定）

提案内容等が要求水準を満たしているか否かについて、本町が確認した上で、選定委員会が「加点項目の審査」を行う。具体的な提案内容の審査については、以下に示す加点項目ごとに、加点基準に応じて得点（加点）を付与するものとする。加点項目の審査は最大1000点とし、その内訳は「別紙2 加点項目の審査に係る評価基準」に示す。

なお、加点項目の審査の得点計算に当たっては、その合計点の小数点以下第2位を四捨五入するものとする。

加点項目	配点	備考
① 事業計画全般に関する事項	80	配点の割合：最大1000点中8.0%
② 設計業務に関する事項	200	〃 20.0%
③ 建設業務に関する事項	20	〃 2.0%
④ 工事監理業務に関する事項	20	〃 2.0%
⑤ 維持管理業務に関する事項	100	〃 10.0%
⑥ 運営業務に関する事項	200	〃 20.0%
⑦ 応募者独自の提案に関する事項	100	〃 10.0%
⑧ 地元貢献に関する事項	200	〃 20.0%
⑨ 民間提案に関する事項	80	〃 8.0%
合 計	1000	

【加算基準】

評価水準	点数	得点（加算）
特に優れている	5	加重値×5
かなり優れている	4	加重値×4
優れている	3	加重値×3
少し優れている	2	加重値×2
わずかに優れている	1	加重値×1
優れている点はない	0	加重値×0

(3) 提案価格に係る評価点の算定

「提案価格に係る評価」点については、提案価格計算書に記載された価格評価点算定用の金額（提案金額から光熱水費等を除いた金額。以下「提案価格（評価点算定用）」という。）に基づき、以下の計算式で算定するものとし、その計算に当たっては、小数点以下第2位を四捨五入し、評価点の上限を200点とする。

$$\text{「提案価格に係る評価」点} = \frac{\text{最低の提案価格（評価点算定用）}}{\text{提案価格（評価点算定用）}} \times 200$$

(4) 総合評価点の算定及び最優秀提案の選定

次に、「審査事項に係る評価」点と「提案価格に係る評価」点の合計を総合評価点とし、これが最大となった提案を最優秀提案として選定する。ただし、総合評価点が同点の場合には、「審査事項に係る評価」点が高い者を最優秀提案者とする。

$$\text{総合評価点} = \text{「審査事項に係る評価」点} + \text{「提案価格に係る評価」点}$$

(最大1000点) (最大200点)

6. 優先交渉権者の決定

本町は、選定委員会からの報告を踏まえ、優先交渉権者を決定する。なお、本町が優先交渉権者と基本協定を締結しないことが確定した場合、又は基本協定が解除された場合には、次順位以降の応募者と交渉するものとする。ただし、この場合であっても同時に2者以上と交渉することはない。